



Bell Friend

鈴鹿短期大学 鈴友会会報 卒業記念号
平成 25 年 3 月 18 日発行

祝
ご卒業

皆様のご壮健・ご活躍を祈念します



鈴友会名誉会長・学長

佐治 晴夫

二年間の学業を終えられ、無事、卒業を迎えられるみなさんに、心からのお喜びを申し上げます。みなさんにとって、この二年間はどのような時間だったのでしょうか。楽しかったこと、苦しかったこと、それぞれの思いをお持ちのことでしょう。しかし、過ぎ去ったすべてのことの集積の結果としての今日であり、とすれば、ここで迎えられた卒業という節目は、さらなる未来への輝かしい第一歩を踏み出すスタートの時でもあります。

私たち人間を含めて、生きていくということは、自分たちを取りまく自然環境、人的環境との情報やエネルギーの交換のプロセスであるともいえます。それは、時々刻々と変化する環境とバランスをとりながら旅をしているようなものです。私たちが、学校で学ぶ時間というのは、通常の社会生活とは異なる学校という世界に身を置いて、ある期間、「学ぶ」というさまざまな体験をしながら新しい自分発見の旅をするようなものです。そして、そこで得た諸々の事柄を糧にして、新たな旅へと出発することが卒業です。つまり、卒業は、過去と未来をつなぐ旅の通過点であるといってもいいでしょう。

その一方で、旅の魅力は、新たなものや人との「出会い」にあり、それは貴重な「学び」のチャンスそのものです。そして、「いい」「出会い」こそが豊かな人生を創り出します。そのためには、つねに心を明らかにして、待つゆとりが大切です。なぜなら、ものごとの生起には、必ず時があって、時が熟したときに、ものごとは見えるかたちになって現れるからです。

卒業という豊かな未来への旅立ちに際して、みなさんが、多くの「いい」出会いに恵まれるよう祈ってやみません。



鈴友会会長

増田 文子

(昭和 44 年度卒業)

卒業生の皆様、ご卒業を心からお祝い申し上げます。庄野と郡山の2箇所のキャンパスで、過ごされた学生生活はいかがでしたか。貴重な経験として、これからも将来にわたり、思い起こされることでしょうか。

学園を巣立ち、一步社会というものを見た時、感じられるのは、何でしょうか。東日本大震災、紀伊半島風水害等々の復旧復興に携わっている人々、また若者の職に対する志向が、正規採用なら、自分の意向がかなえられなくても、いたしかたなしとする傾向性が高くなっている現実。また、一人ひとりにおいても、当然のことながら、学生生活とは異なった体験の連続であられることでしょうか。新聞の投稿欄で、震災を被られた方の、こんな文面を読んだことがあります。「1年目、負けなかった。2年目、負けなかった。3年目、負けてたまっか。」この強き一念には脱帽でした。胸にくるものがありました。

これからの船出にあたり、私達の短大には、創立 45 周年にわたる歴史があります。かけがえのない、紡ぎ続けてきたという実績、きっと実感される時がくると思います。そして、これまで心根のよき人であれ、誠実な人であれと、育まれた精神を思い起こされ、大きく、社会の中へ雄飛されることを、期待するとともに、同窓会員一同応援しています。

2 年ごとに開催される同窓会総会には、ぜひとも元気な顔を見せてください。ご健闘をお祈りいたします。



～会員数は 7,665 名になりました～

昭和 43 年に 29 名で鈴友会が誕生。そして皆さんを迎え、会員数 7,665 名になりました。卒業して社会人の第一歩を踏み出そうとしている今は前途洋々ですが、時を経て、子育てを終え、仕事に一区切り付いた頃と、友人や学舎の思い出が懐かしく、人恋しくなる日が来ると思います。そんな日の為に、温かく包める同窓会を皆さんと共に創って行きたいです。(平成 25 年 3 月 18 日現在)

巣立つ皆さんへ・・・贈る言葉

生活コミュニケーション学科

生活コミュニケーション学専攻

(川又 俊則)

ご卒業おめでとうございます。キャンパス移転で庄野と郡山と2つのキャンパスで学んだ貴重な経験を持つ皆さんは、今後、自分自身で選んだ道を歩まれます。短大2年間一緒に学んだ仲間との絆とコミュニケーションを大切に、また、いつでもこの短大へ遊びに来てください。私たちは卒業生の皆さんと会える日を楽しみに待っています。



食物栄養学専攻 (久保さつき)

新しい学び舎郡山キャンパス最初の卒業生となる皆さん、ご卒業おめでとうございます。2年間培った学びや友情を生涯大切にしていってください。どうか卒業後も元気な姿を見せに遊びに来てください。皆さんと会える日を楽しみにしています。



専攻科健康生活学専攻 (永石喜代子)

祝! 「人にとって大事なもの」
卒業を祝して「有難う」の言葉を送ります。思えば、仕事との両立は大変でしたね。でも、きっと人にとって大事なものは知識そのものではなく「知識を得ようとする気持ちと意欲」なのでしょうね。三人は最後まで学ぶ姿勢を失わなかった個性豊かな一期生、私の誇りです。

こども学専攻 (堀 建治)

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。途中、庄野から郡山へキャンパスが移転するなど環境が大きく変わりましたが、皆さんにとっても思い出深い学生生活になったのではないのでしょうか。社会人となつていろいろなことがあるかもしれません。そのときは遠慮せずいつでも気軽にキャンパスを訪ねてきてください。



～幹事紹介～

平成24年度 卒業生134名は本日、同窓会(鈴友会)に入会します。

そして、私たち7名が幹事を務めさせていただくことになりました。よろしくお願ひいたします。(幹事代表:中谷雅幸)

生活コミュニケーション学 浦野早都紀・大谷昌子 **食物栄養学** 中谷雅幸・中川愛理

こども学 打田麻優里・塩野真希 **専攻科健康生活学専攻** 伊藤亜里紗

鈴友会事務局便り

卒業後、鈴友会から連絡をさせていただくこともありますので、住所・改姓・電話番号など連絡先に変更がありましたら、鈴友会事務局までご連絡をお願いします。鈴友会(同窓会)事務局 〒510-0298 鈴鹿市郡山町663-222 Tel: 059-372-3900 Fax: 059-372-3903